

授業科目(ナンバリング)	中国語 I B (AC116)			担当教員	※張 美玉		
展開方法	演習	単位数	1 単位	開講年次・時期	1 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音と言われている。大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎となる初級文法知識・実生活においてよく使われる表現をしっかりと身につけることや中国文化への理解を深めることを目指す。							①②③ ⑨⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。</li> <li>中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。</li> <li>基本的な初級文法や語彙を習得し日常的な会話表現を身につける。</li> <li>日本中国語検定試験準4級を目指す。</li> </ul>				定期試験	15%	
情報収集、分析力	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国(語)に関連する情報の収集に積極的に取り組むことができる。</li> <li>様々な情報収集ツール(辞書、ネット等)を活用することができる。</li> </ul>				課題レポート	10%	
コミュニケーション力	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きな声で積極的に会話練習や短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと固め、既習知識を活かし、中国語でコミュニケーションをとることができる。</li> </ul>				小テスト 定期試験	20% 20%	
協働・課題解決力	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の様々な活動に積極的に参加することができる。</li> <li>中国(語)への理解を深めるために、他人(教師や学生同士など)と積極的に交流することができる。</li> </ul>				授業態度・授業への参加度	10%	
多様性理解力	<ul style="list-style-type: none"> <li>言語：日中両言語の異同を少しでも理解することができる。</li> <li>非言語：漢語圏の社会、文化に関心を持ち、多様性に対する理解を深めることができる。</li> </ul>				定期試験 課題レポート	15% 10%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> <li>定期試験の成績を50%とし、筆記試験で既習した知識の習得状況を確認する。(教科書や資料などの持ち込み不可)</li> <li>課題を20%とし、課題提出状況によって評価する。</li> <li>小テストの成績を20%とし、毎回の授業で前回の内容を習得したかを確認する。(第1回目の授業を除く)</li> <li>授業態度及び授業への参加度の成績を10%とし、遅刻欠席回数や授業への参加度合などを基準に評価する。</li> </ul>							
※ 小テスト、口頭練習などについては、授業でフィードバックを行う。							
授業の概要							
<ul style="list-style-type: none"> <li>資料：教科書を基本資料とし、導入イラスト、カード、プリントなどを補助資料として授業を行う。</li> <li>進め方：「復習&gt;新出単語・本文&gt;文法解説&gt;ドリル&gt;答疑」の流れに従う。(変わる時もある)</li> <li>目標：①中国語の音声表記を完全マスターする ②入門レベルの文法と表現を習得する ③簡単な会話ができる。</li> <li>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。</li> </ul>							
教科書・参考書							
教科書：『ポイントマスター・初級中国語』楊曉安(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書 参考書：特になし。適宜授業中に指示する。 指定図書：『ポイントマスター・初級中国語』楊曉安(同学社)							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> <li>中国語の発音を正確に身につけるために、教科書のCDを聞きながら実際に声を出して練習すること。</li> <li>予習と復習をすること(授業で習ったことを必ずその日のうちに復習する。そして最後にその日の学習の総仕上げとして「宿題」を完成してください)。また、時間の余裕があれば、次に学習する課の語彙と文法を見ておく。基本的な準備をしておけば、次の学習が効率的にできる。</li> <li>学んだ中国語を使って、中国人に話かけてみてください。習ったことをすぐ使ってみるという習慣をつけること。</li> <li>教科書以外の資料も活用すること。(例：参考書、辞書、歌、NHK、テレビ・ラジオ番組など)</li> </ul>							

中国語 I B (後期)

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	第 11 課 『立图书馆在哪儿?』	文法：存在を表す動詞「有」と「在」 / 方向や位置を表す語/指示代名詞[2] “这里、这儿;那里、那儿;哪里、哪儿” / 量	予習：教科書 p. 50～53 復習：前期の既習内容
2	第 12 課 『你会开汽车吗?』	文法：助動詞「会」「能」「可以」 / 連動文	予習：教科書 p. 54～57 復習：存在動詞・方向や位置を表す語・指示代名詞 2
3	第 13 課 『你打算去哪儿?』	文法：助動詞「想」・「喜歡」・「打算」	予習：教科書 p. 58～61 復習：助動詞「会」「能」「可以」・連動文
4	第 11 課～13 課までの復習	「有」と「在」・“这里、这儿;那里、那儿;哪里、哪儿” / 量・「能」「可以」 / 連動文・「想」・「喜歡」・「打算」	予習：教科書 p. 50～61 復習：第 11 課～第 13 課 単元復習
5	第 14 課 『你看过三国演义吗?』	文法：アスペクト助詞「了」「着」「过」	予習：教科書 p. 62～65 復習：「有・在」・場所指示代名詞・「能・可以」・連動文・「想・喜歡・打算」
6	第 15 課 『明天几点出发?』	文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」	予習：教科書 p. 66～69 復習：助詞「了」「着」「过」
7	第 16 課 『你家离学校远吗?』	文法：介詞「从」「到」「离」 / 「多～」	予習：教科書 p. 70～73 復習：時刻と時点と時間量・選択疑問文・介詞「在」
8	第 14 課～16 課までの復習	「了」「着」「过」・時刻の言い方・選択疑問文・「在」 時点と時間量・「从」「到」「离」 / 「多～」	予習：教科書 p. 62～73 復習：第 14 課～第 16 課 単元復習
9	第 17 課 『今天特别热』	文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」	予習：教科書 p. 74～77 復習：「了・着・过」・時刻の言い方・選択疑問文・介詞「在・从・到・离」
10	第 18 課 『桌子有一本汉语课本』	文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞	予習：教科書 p. 78～81 復習：比較の表現・「有点儿」と「一点儿」
11	第 17 課～18 課までの復習	比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」 二重目的語 / 存現文 / 疑問詞	予習：教科書 p. 74～81 復習：第 17 課～第 18 課 単元復習
12	第 19 課 『你的房间真干净』	文法：“把”構文 / 受身の表現 / 変化を表す「了」	予習：教科書 p. 82～85 復習：比較の表現・二重目的語・存現文・疑問詞
13	第 20 課 『老师让他去图书馆了』	文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听说	予習：教科書 p. 86～89 復習：“把”構文・受身の表現・変化を表す「了」
14	第 19～20 課までの復習	“把”構文 / 受身の表現 / 変化を表す「了」 使役の表現 / “再”と“又” / 听说	予習：教科書 p.82～89 復習：第 19 課～第 20 課 単元復習
15	第 11 課～第 20 課まで 総復習	後期授業内容の復習	復習：第 11 課～第 20 課
16	定期試験	筆記試験	定期試験の準備

授業科目(ナンバリング)	中国語 I B(AC116)			担当教員	※井上 麗奈		
展開方法	演習	単位数	1 単位	開講年次・時期	1 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
本講義は前期に開講された中国語 I A の続きであるため、中国語 I A を履修したことを条件とする。中国語の基礎である声調やピンインを確実に身につけた上、さらなる難易度が高い単語、会話、文法を習得する。中国語の四技能である聴く、話す、読む、書くことがさらに上達し、様々な場面において、中国語や漢字圏の方とコミュニケーションができる。また、中国の文化、歴史、習慣、流行などを知ることによって、中国のことがより一層理解を深めることが目標とする。また、後期終了時には中国語の検定である HSK (漢語水平考試) 2 級に合格ができる。							①②⑧⑨⑩⑪
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	<ul style="list-style-type: none"> <li>ピンインや声調の読み、書き、聞き取りが確実に身につくことができる。</li> <li>簡単な日常会話を聞く、話すことができる。</li> <li>日常会話で使う漢字を書くことができる。</li> </ul>				・中間試験	20%	
情報収集、分析力	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国の文化や歴史、習慣など習得することができる。</li> <li>中国の流行について理解することができる。</li> </ul>				・課題レポート	5%	
コミュニケーション力	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な場面において、自ら積極的にコミュニケーションをとることができる。</li> <li>自分の意思を相手に伝えることができる。</li> </ul>				・発表 ・小テスト	20% 20%	
協働・課題解決力	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国および漢字圏の中国語の表現を理解することができる。</li> <li>中国語の検定、HSK2 級に合格ができる。</li> </ul>				・授業態度・授業や演習への参加度	5%	
多様性理解力	中国語を学び、中国の方がコミュニケーションの取り方、中国の文化や習慣を理解することができる。				・定期試験	30%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
小テスト(20%)は不定期に行い、主に学習した単語や文法とする。中間試験(20%)は、第8回目に1回行う。学習した基礎知識、授業内容の理解度の確認を主とする。定期試験(30%)は、筆記試験とし、教科書や資料等の持込み不可。課題レポート(5%)授業中に指示し、提出後添削を行い、翌週に返却する。未提出者や再提出が必要な場合、提出日を指定する。発表(20%)は、授業中に指示する。主に、発音の確認とする。授業態度・授業や演習への参加度(5%)は、出席回数や授業中の私語などで評価する。							
授 業 の 概 要							
この授業は、中国語の基礎である声調やピンインを習得したうえ、日常会話を身につくと同時に、中国の文化や歴史、などを理解することができる。授業では、教科書を使うほか、絵カード、パワーポイント、単語を覚えるためのカードゲーム、音楽、映像を取り入れる。また、中国語の検定である HSK (漢語水平考試) 2 級に合格するためのアドバイスやサポートをする。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。							
教 科 書 ・ 参 考 書							
教科書：塚本慶一・劉穎 『1年生のコミュニケーション中国語』白水社 参考書：郭春貴・郭久美子『品詞別・例文で覚える HSK 基本語彙 1~4 級』 白帝社 指定図書：呉月梅『中国語イラスト辞典』 三修社							

授業外における学修及び学生に期待すること

- ・教科書は必ず購入してください。
- ・積極的に授業に参加し、不定期に小テストを行うので、毎回復習・予習を必ず行って下さい。より分かりやすく、丁寧な文になるよう、日ごろ、習得した単語や文法を使って、長い文を作成することによって、より伝わりやすい中国語が身につくことができる。前期終了時には中国語の検定、HSK（漢語水平考試）2級を受験し、就職などに役に立ててください。また、検定を一つの目標にし、学習を積極的に取り込んで下さい。
- ・授業中の私語、居眠りなど授業要件として認めません。

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	・オリエンテーション ・中国語 I A の学習内容	・授業の流れと授業の進め方について ・中国語で自己紹介をする ・中国語 I A で学習した文法を確認テストをとって確認する	予習：中国語 I A で学習した文法 復習：確認テストで間違ったところ
2	第6課 何がありますか①	・文法（動詞有、什么+名詞、助数詞）	予習：文法（P33） 復習：文法
3	第6課 何がありますか②	・会話 ・リスニング 6	予習：会話 復習：会話
4	第7課 ホテルにチェックイン①	・文法（完了を表す了、選択疑問文～还是）	予習：文法（P37） 復習：文法
5	第7課 ホテルにチェックイン②	・会話 ・リスニング 7	予習：会話 復習：会話
6	第8課 何時に行きますか①	・文法（経験を表す过、時を表す語（時間詞） ・時刻を言い方	予習：文法（P41） 復習：文法
7	第8課 何時に行きますか②	・会話 ・リスニング 8	予習：会話 復習：会話
8	中間テスト	第6～8課の文法、会話（文法を使って文を書く、ペアで正しい発音ができる、会話文の意味を訳す）	予習：第6～8課の文法、会話 復習：中間テストの再確認
9	第9課 タクシーに乗る①	・文法（前置詞从～到、時間の長さを表す語、二つの目的語を持つ動詞給）	予習：文法（P45） 復習：文法
10	第9課 タクシーに乗る②	・会話 ・リスニング 9	予習：会話 復習：会話
11	第10課 試着と支払い①	・文法（助動詞可以・能・会、前置詞在、動詞の重ね用法）	予習：文法（P49） 復習：文法
12	第10課 試着と支払い②	・会話 ・リスニング 10	予習：会話 復習：会話
13	第11課 苦情を訴える	・文法（前置詞给是の省略去来+動詞） ・会話 ・リスニング 11	予習：文法（P53） 復習：文法、会話
14	第12課 紛失届を出す	・文法（前置詞给是の省略去来+動詞） ・会話 ・リスニング 12	予習：文法（P57） 復習：文法、会話
15	総まとめ	・総まとめする	予習：今までのノートやプリントに目を通す 復習：試験に備え勉強する
16	定期試験		